

## 第6学年国語科学習指導案

日 時 平成30年9月26日(水) 5校時

児 童 6年1組 男20名 女12名 計32名

指導者 川越 絵美

1 単元名 「資料を生かして呼びかけよう」東京書籍 新しい国語P90～P95

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領に以下のように位置付けられている。

#### 第5学年及び第6学年 「B 書くこと」

##### 1 目標

(2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

##### 2 内容「B 書くこと」(1)

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

本教材「資料を生かして呼びかけよう」は、資料を活用して環境問題に対する身近な取り組みを呼びかける文章を書く学習である。

教材の特徴として、高学年の児童にとって興味のもちやすい環境問題をテーマに扱っていることと、図表やグラフ、写真などを用いて、文章の内容がより分かりやすく工夫されていることが挙げられる。よって、児童が環境問題に対する身近な取り組みを捉え、資料を活用して自分の考えを書く学習に適した教材であると考えられる。

#### (2) 児童観

児童はこれまでに、「資料を生かして考えたことを書こう」で、資料を活用して文章を書く学習を行ってきた。この学習では、2つの新聞記事を読み比べ、記事と写真との関係を読み取り、記事と写真に合った見出しを書く活動を経験している。この学習を通して、資料から情報を読み取る力や情報を活用して文章を書く力を身に付けてきた。しかし、本単元の教材のように、資料の効果を考えた上で、資料を活用して文章を書く学習は経験していない。そこで、本単元を通して、文章全体の構成の効果を考え、目的や意図に応じて必要な資料を選択し、活用することで、自分の考えを伝える文章を書く力を高めたい。

#### (3) 指導観

本単元を指導するに当たっては、次の3点に留意する。

##### ① ねらいを明確にした言語活動の工夫(視点1)

本単元のゴールは、「環境問題の取り組みを呼びかけよう」である。本教材の「資料を生かし

て呼びかけよう」の読み取りと並行して、環境問題に関する本を関連図書として読ませていく。そして、選択した資料を使って、環境問題に対する自分なりの考えや取り組みを意見文にまとめ、友達へ伝える活動を単元の最後に位置付ける。そのために必要な読み取りとして、以下の3つを位置付ける。

I 図表やグラフ、写真を使った資料を読む。(どのような効果があるか。)

II 文章の構成の仕方を読む。(意見と根拠や理由をどのような構成で書くか。)

III 資料を活用した文章の書き方を読む。(どのような書き出しか。意見と根拠の述べ方など)

第一次では、教科書で扱われている3つの資料を中心に読み取る。図表やグラフ、写真を用いたときの効果や資料と文章が関連付けられていることに着目させたい。また、環境問題についての本をいくつか用意し、環境問題に対する取り組みを考えて友達へ伝えるという本単元の学習課題を確かめ、学習に見通しをもたせる。

第二次では、環境問題に対する自分の考えをもった上で、呼びかける文章を書くために資料がどのように活用されているかを確認する。「始め」「終わり」には意見、「中」には意見の根拠が書かれている文章の構成を理解し、教材文の中で選択した資料がどのような効果をもたらし、活用されているかを確認していく。そして、資料を用いた呼びかけの文章の構成を考え、意見や根拠を述べる時の言葉を押さえて、資料を効果的に活用した環境問題に対する取り組みを呼びかける文章を書いていく。

第三次では、環境問題に対する取り組みを呼びかける。自分の考えに根拠や理由があるのか、また、資料を効果的に活用しているのかを感想や助言で伝えられるように示し、友達と感想や助言を伝え合う。

## ② ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導方法の工夫（視点2）

資料を読み取るための工夫として、資料全体を捉えた後に細かい部分を読んでいく。まず、題やキャプションに目を向けさせ、書かれている内容を大まかに捉える。次に、写真、図、グラフに目を向けさせ、教科書の児童の発言例と関連させて、資料が文章の中で発揮する効果について視覚的に捉えさせる。また、資料を活用して意見を書くためには、文章の構成や意見を述べる時に使う言葉を読み取っておく必要がある。そこで、読み取りの方法として、「文章構成図」「文末表現例」を用いる。これらの方法を通して、資料を活用して意見を書く活動を視覚的、構造的に捉えさせる。

## ③ 児童の振り返りの工夫（視点3）

児童の振り返りは、以下の3つを設定する。

ア 学習して新たに分かったこと

イ 友達の発言から学んだこと

ウ これからの学習でもっと学びたいこと

これらを選んで書かせることで、学んだ達成感と学びの連続性を意識させ、学び続ける態度につなげていきたい。

### 3 単元目標

複数の資料から効果的な資料を選択して、環境問題に対する取り組みを友達に伝える文章を書くことができる。

国語への 関心・意欲・態度	・複数の資料から効果的な資料を選択して、環境問題に対する取り組みを友達に伝える文章を書こうとする。
書く能力	・自分の意見や根拠が述べられ、環境問題に対する取り組みが伝わる文章になっているか考えることができる。(書イ) ・資料を選択したり、必要な語句や文を抜き出したりして、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書エ)
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	・語句と語句との関係に気を付けながら、環境問題に対する取り組みが伝わる文章を書くことができる。(伝国(1)イ (オ))

### 4 単元の指導計画と評価計画（全6時間）

次	時	学習活動	評価基準
一	1	・教科書90・91ページの資料の特徴について考え、「環境問題に対する自分の取り組みを呼びかけよう」という学習の見通しをもつ。	<b>関</b> 環境問題の取り組みが伝わるような文章を書くために必要な学習方法を考えている。
二	2	・教科書92・93ページの文例を読み、文章と資料を照らし合わせ、構成や活用の仕方について確かめる。	<b>書</b> 資料の活用の仕方や構成の仕方を理解している。
	3 本 時	・教科書94ページの資料から分かる事実を読み取り、自分の考えを書く。	<b>書</b> 資料から分かる事実を整理し、環境問題の取り組みにつながる自分の考えを書いている。
	4	・資料の特徴と文章の中での効果に気を付けて、文章構成を考える。	<b>書</b> 効果的に資料を活用した文章の構成を考えている。
	5	・資料を効果的に活用した呼びかけの文章を書く。	<b>言</b> 呼びかけの文章の中で、自分が伝えたい意見と根拠や理由を関係付けて書いている。 <b>書</b> 環境問題の取り組みが伝わる資料を効果的に活用して、事実と考えが区別された文章を書いている。
三	6	・意見文を読み合い、友達と感想や助言を伝え合う。	<b>書</b> 意見文を読み合い、友達と感想や助言を伝え合っている。

## 5 本時の学習

### (1) 目標 (3/6時間)

- 資料から分かる事実を整理し、環境問題の取り組みにつながる自分の考えをシートに書いている。【書ア】

### (2) 本時の評価規準と具体的評価規準

本時の評価規準 (評価方法)	B	努力を要する児童への教師の支援
資料から分かる事実を整理し、環境問題の取り組みにつながる自分の考えをシートに書いている。 (シートの記述内容・発言)	資料から分かる事実を見つけ、見つけた事実に対する自分の考えをもち、シートに書いている。	掲示物の活用や考える資料を絞り、資料から分かる事実を見つけやすいように考えるための視点を与える。

### (3) 展開

段階	学習活動と学習内容 (○) ☆: 発問 ・ 予想される児童の考え	指導上の留意点と評価 (◇) 研究の視点 言 工 振
導入 5分	<p>1 前時の学習を想起する</p> <p>2 本時の学習課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     資料から分かることをもとに、環境問題について自分たちにできることを考えよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習を振り返る。</li> <li>・ 単元における本時の学習の位置付けと学習内容を、単元表を使って確認する。</li> </ul>
展開 30分	<p>3 資料から分かることを読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書94ページの資料4～8から分かる事実を見つけ、シートに書き出す。</li> <li>○資料から分かる事実を交流する。(個人→全体)</li> <li>○それぞれの資料から読み取れることをまとめる。</li> </ul> <p>4 資料から分かることに対する自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から分かることに対する自分の考えをもち、シートに書き出す。</li> <li>☆資料から分かることをもとに、環境のために自分たちにできることを書きましよう。</li> <li>○資料から分かることに対する自分の考えを交流する。(個人→グループ→全体→個人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物を活用し、資料の読み取り方のポイントを確かめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>工</b> 資料の読み取りでは、「題やキャプション」を大切にすることや「全体を捉えた後に細かい部分を見る」ことを大切にしよう助言する。 (明確な指示による学習の焦点化)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4人1組でグループを組み、自分の考えを交流する。</li> </ul>

	<p><b>Bと捉える考え方の例文(二酸化炭素の削減の考え)</b></p> <p>資料4：電気48%，ガソリン25%で上位を占めている。      考え：電気をつける回数を減らすことや、ガソリンをあまり使わないこと。</p> <p>資料5：キャプションに緑のカーテンは日光をさえぎり、夏もすずしいと書いている。      考え：エアコンや扇風機をあまり使わずにすむので、緑のカーテンを増やす。</p> <p>資料6：電力使用量は年々増えている。      考え：電気をあまり使わないように、家や学校で節電する。</p> <p>資料7：電気冷蔵庫14%，照明器具13%と消費量が多い。      考え：電気冷蔵庫の開け閉めを減らしたり、必要な場所だけ照明器具を使う。</p> <p>資料8：自家用車が1番、二酸化炭素を出している。      考え：近くへ外出するときには、できるだけ歩く。</p>	<p>◇資料から分かる事実を整理し、環境問題の取り組みにつながる自分の考えをシートに書いている。【書ア】      (シートの記述内容・発言)</p>
<p>終末10分</p>	<p><b>5 本時を振り返る</b></p> <p>○本時の振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りを丁寧にしたことで、自分の考えをもつことができた。資料から分かることと自分の考えはつながっていると感じた。</li> <li>○○さんは、自分たちにできることを具体的に分かりやすく考えていた。○○さんの考えが良かった。</li> <li>今日の学習で、環境問題に対する自分の考えをもつことができた。次の時間は書く順番や資料をもう一度見直していきたい。</li> </ul> <p>○次時の学習の見直しをもつ。</p>	<p><b>振</b> 観点を次のように示す。</p> <p>ア 学習して新たにわかったこと      イ 友達の発言から学んだこと      ウ これからの学習でもっと学びたいこと</p> <p>・次時の学習の位置付けと学習内容を、単元表を使って確認する。</p>